

温泉の利用状況について

泉 質： ナトリウム-炭酸水素塩・硫酸塩温泉
(低張性 弱アルカリ性 高温泉)

温泉成分の特徴： 刺激が少なく、肌がすべすべするお湯です。
(分析場所：源泉)

源泉の温度及び湧出量： 50.6℃ 239ℓ/分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり(直近成分分析年月日：H29.7.3)

浴槽の種類とその状況： 大浴場、ひのき風呂、薬草風呂、ジャグジー、岩風呂
(温泉水を使用)
水風呂(水道水を使用)

循環、かけ流しの状況： 循環式
(温泉資源の保護と衛生管理の為、循環ろ過装置を使用しています。)

加水の状況： なし

加温の状況： 循環時に入浴に適した温度に保つため、また、貯湯槽を有するため衛生管理の面から加温しています。

新湯との入れ替わり状況： ー

入浴剤等の添加： 香りをよくするため、保温効果を高めるため、薬草を袋に入れ、薬草湯に浮かべています。

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況： 毎日、完全にお湯を抜いて、清掃を行っています。

浴槽水の消毒状況： 衛生管理を確実にを行うため、次亜塩素酸ナトリウムを投入し、浴槽内の塩素濃度を1日2回確認し、細菌の増殖を防いでいます。

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、年に2回実施しています。

※水質検査証は別に表示

平成29年 7月 3日

施設名

南阿蘇村総合福祉温泉センター
ウイナス

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会